



平成29年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月7日

上場会社名 ファーストブラザーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3454 URL http://www.firstbrothers.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉原 知紀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 堀田 佳延 TEL 03(5219)5370
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第2四半期の連結業績（平成28年12月1日～平成29年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第2四半期	10,067	19.1	1,814	5.0	1,667	8.4	1,096	28.6
28年11月期第2四半期	8,454	176.1	1,727	△24.1	1,537	△29.9	853	△31.1

(注) 包括利益 29年11月期第2四半期 1,098百万円 (31.3%) 28年11月期第2四半期 836百万円 (△32.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第2四半期	156.58	—
28年11月期第2四半期	120.41	—

(注) 平成28年11月期第2四半期及び平成29年11月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年11月期第2四半期	37,635	10,628	28.2	1,517.15
28年11月期	36,072	9,885	27.4	1,411.01

(参考) 自己資本 29年11月期第2四半期 10,628百万円 28年11月期 9,885百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	—	0.00	—	50.00	50.00
29年11月期	—	0.00	—	—	—
29年11月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年11月期の連結業績予想（平成28年12月1日～平成29年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,072	23.7	4,107	3.6	3,687	0.7	2,396	4.8	342.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、 除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年11月期2Q	7,222,500株	28年11月期	7,222,500株
② 期末自己株式数	29年11月期2Q	216,631株	28年11月期	216,631株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年11月期2Q	7,005,869株	28年11月期2Q	7,086,357株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、平成29年7月10日（月）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。
当日使用する四半期決算説明資料は、四半期決算短信と同時にT D n e t 開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、一部に遅れが見られるものの、緩やかな回復基調が継続しております。また、先行きについては、各種政策の効果への期待感がある一方で、海外経済の不確実性の高まり、金融資本市場の変動が企業、家計のマインドに与える影響など、不透明な要素があります。

不動産売買市場におきましては、依然として低水準にある資金調達コストやオフィスビル等の賃料上昇への期待を背景に、国内外の投資家の投資意欲は旺盛であり、不動産の取得競争は激しく流動性の高い状態が継続しております。

このような事業環境の中、当社グループは、既存の投資案件のバリューアップを行うとともに、当社グループの投資案件に対する目利きやバリューアップの実績を活かし、十分な投資リターンが見込める投資案件の取得を進めてまいりました。また、機を捉えた投資案件の売却も行いました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高10,067,757千円（前年同四半期比19.1%増）、営業利益1,814,015千円（前年同四半期比5.0%増）、経常利益1,667,609千円（前年同四半期比8.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,096,975千円（前年同四半期比28.6%増）となりました。

なお、当社グループの四半期業績は、当社グループが手掛ける投資案件の売却を行う時期等により大きく変動するため、当社では事業計画を年間で作成し、管理しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（投資運用事業）

投資運用事業につきましては、既存の投資案件に係るアセットマネジメントフィーの計上等があったものの、アセットマネジメント契約の終了に伴い、受託資産残高は減少しております。また、前年同四半期に計上した投資案件の売却に伴うディスポジションフィー等が当第2四半期にはなかったこと等により、売上高は33,208千円（前年同四半期比78.0%減）、営業利益は594千円（前年同四半期は営業損失15,765千円）となりました。

（投資銀行事業）

投資銀行事業につきましては、自己勘定投資案件（賃貸不動産等）からの賃料収入が拡大したことに加え、自己勘定投資案件（賃貸不動産等）の売却収入が寄与したこと等により、売上高は10,058,548千円（前年同四半期比20.3%増）、営業利益は2,168,669千円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,563,037千円増加し、37,635,247千円となりました。これは主に、販売用不動産が1,274,244千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ819,444千円増加し、27,006,276千円となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む。）が1,048,699千円増加する一方、未払法人税等が299,197千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ743,592千円増加し、10,628,971千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が742,380千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月期通期の業績予想につきましては、平成29年1月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,693,711	5,730,767
信託預金	609,013	578,731
売掛金	46,089	47,827
販売用不動産	25,775,835	27,050,080
仕掛販売用不動産	1,115,508	1,149,608
繰延税金資産	374,721	408,479
営業貸付金	458,985	108,985
営業投資有価証券	599,555	610,452
その他	697,487	1,226,785
貸倒引当金	△112,791	△109,391
流動資産合計	35,258,117	36,802,328
固定資産		
有形固定資産	170,198	175,695
無形固定資産	8,879	11,663
投資その他の資産	635,015	645,559
固定資産合計	814,093	832,918
資産合計	36,072,210	37,635,247
負債の部		
流動負債		
短期借入金	860,000	860,000
1年内返済予定の長期借入金	745,140	744,928
未払法人税等	814,967	515,770
賞与引当金	—	83,647
その他	819,789	625,078
流動負債合計	3,239,896	2,829,424
固定負債		
長期借入金	21,832,386	22,881,297
その他	1,114,549	1,295,555
固定負債合計	22,946,935	24,176,852
負債合計	26,186,832	27,006,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,589,830	1,589,830
資本剰余金	1,913,110	1,913,110
利益剰余金	6,664,919	7,407,299
自己株式	△285,698	△285,698
株主資本合計	9,882,162	10,624,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,215	4,428
その他の包括利益累計額合計	3,215	4,428
純資産合計	9,885,378	10,628,971
負債純資産合計	36,072,210	37,635,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)
売上高	8,454,704	10,067,757
売上原価	6,019,584	7,613,935
売上総利益	2,435,119	2,453,822
販売費及び一般管理費	707,205	639,806
営業利益	1,727,914	1,814,015
営業外収益		
受取利息	474	104
受取配当金	3,306	25
受取賃貸料	2,004	2,004
投資有価証券売却益	—	2,705
還付加算金	886	649
デリバティブ評価益	6,452	4,913
その他	0	642
営業外収益合計	13,124	11,045
営業外費用		
支払利息	84,205	106,096
支払手数料	99,865	32,150
その他	19,141	19,204
営業外費用合計	203,212	157,451
経常利益	1,537,826	1,667,609
特別利益		
関係会社清算益	5,499	—
特別利益合計	5,499	—
特別損失		
関係会社清算損	—	856
特別損失合計	—	856
税金等調整前四半期純利益	1,543,326	1,666,752
法人税、住民税及び事業税	801,040	600,401
法人税等調整額	△110,959	△30,624
法人税等合計	690,080	569,776
四半期純利益	853,246	1,096,975
親会社株主に帰属する四半期純利益	853,246	1,096,975

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	853,246	1,096,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,058	1,212
その他の包括利益合計	△17,058	1,212
四半期包括利益	836,187	1,098,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	836,187	1,098,188
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年12月1日 至 平成28年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,543,326	1,666,752
減価償却費	116,253	150,236
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	66,405	△3,400
賞与引当金の増減額 (△は減少)	83,169	83,647
受取利息及び受取配当金	△3,781	△130
支払利息	84,205	106,096
関係会社清算損益 (△は益)	△5,499	856
信託預金の増減額 (△は増加)	△347,170	30,281
売上債権の増減額 (△は増加)	△22,813	△1,737
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,226,793	△1,453,085
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△7,000	350,000
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△93,619	△7,157
関係会社匿名組合出資金の増減額 (△は増加)	1,278	△21,727
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△48,111	△528,782
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△118,345	△225,634
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	357,887	180,470
その他	2,720	7,626
小計	△5,617,890	334,312
利息及び配当金の受取額	3,781	130
利息の支払額	△88,171	△102,287
法人税等の還付額	—	209
法人税等の支払額	△840,635	△897,169
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,542,915	△664,804
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△87,747	△10,527
無形固定資産の取得による支出	—	△4,000
投資有価証券の取得による支出	△872	△3,364
投資有価証券の売却による収入	—	8,194
関係会社株式の取得による支出	△722,418	—
敷金及び保証金の差入による支出	△210	△3,080
その他	△24,264	△857
投資活動によるキャッシュ・フロー	△835,512	△13,636
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	450,000	—
長期借入れによる収入	11,130,000	7,455,000
長期借入金の返済による支出	△3,899,095	△6,406,301
自己株式の取得による支出	△285,657	—
配当金の支払額	—	△349,839
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,395,247	698,859
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,075	△459
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,743	19,958
現金及び現金同等物の期首残高	4,040,609	5,693,711
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6,152	—
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	17,097
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,060,505	5,730,767

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成27年12月1日 至 平成28年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資運用事業	投資銀行事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	96,182	8,358,521	8,454,704	—	8,454,704
セグメント間の内部売上高 又は振替高	54,426	—	54,426	△54,426	—
計	150,609	8,358,521	8,509,131	△54,426	8,454,704
セグメント利益又は損失（△）	△15,765	2,052,679	2,036,913	△308,999	1,727,914

（注）1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△308,999千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年12月1日 至 平成29年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資運用事業	投資銀行事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,208	10,058,548	10,067,757	—	10,067,757
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,000	—	24,000	△24,000	—
計	33,208	10,058,548	10,091,757	△24,000	10,067,757
セグメント利益	594	2,168,669	2,169,264	△355,249	1,814,015

(注) 1. セグメント利益の調整額△355,249千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。